

## ティーフェンゼー連邦交通相談話:ブランデンブルク州内のアウトバーンのサービスエリアで LED 照明を使用する試験計画が開始

掲載日	2009 年 9 月 13 日
国名	ドイツ
分類	環境
出典	連邦交通省
タイトル	Tiefensee: Pilotprojekt für LED-Beleuchtung an Autobahn-Raststätten startet in Brandenburg

ヴァルスレーベン・ガソリンスタンド併設サービスエリアが、新しい光に包まれている。連邦交通省はブランデンブルク州の協力を得て、アウトバーン A24 号線(ベルリン～ハンブルク間)において、環境に配慮した照明装置をサービスエリアの屋外照明に使用するという、国内で初めての試験計画を開始した。ハンブルク方面車線のサービスエリアに最先端の LED 技術を用いた照明ポール 28 本が設置された。

連邦交通省はこの措置に伴い、2015 年から EU 全域で施行される水銀灯の販売禁止政策に早くも対応したことになる。水銀灯は特にサービスエリアで多く使用されている。

ヴォルフガング・ティーフェンゼー連邦交通相は、この試験計画の開始を祝して以下のように述べた。

「LED 技術には他を凌ぐ長所が数多くあります。夜間に走行するドライバーは、一定の時間ごとに休憩を取る必要があります。LED 照明は明るく温かみがあり、均一の光で駐車場を照らします。これによって、乗用車やトラックのドライバーは、より安全に駐車場を利用できるのです。さらに、従来の照明では光が拡散反射しがちだったのに対し、LED 照明はより均一な光で道路を照らします。最新技術である発光ダイオードには水銀やナトリウムは使われておりません。熱の発生も少ないため、二酸化炭素排出量も減少します。エネルギーが節約できるので環境保護にも役立ちます。今回のブランデンブルクでの試験計画によって、LED の耐用期間の長さ、エネルギー効率、耐久性に関して新たな認識を得られるものと期待しております。」

ヴァルスレーベン・オストで試験設置に際しては、イエーナの光学分野でのコンピテンツ・ネットワーク<sup>\*</sup>の参加企業と、応用光学の研究機関であるフラウンホーファー・インスティテュートが開発を手掛けた照明が選ばれた。

連邦交通省はこの 5 年強にわたる試行期間の設置計画に対して 13 万ユーロを拠出した。

(訳注)

<sup>\*</sup>コンピテンツ・ネットワーク(Kompetenznetzwerk)・・・連邦経済技術省の主導による、特定の専門研究分野に関して参加者が互いに成果を開示し、市場性が高く国際競争力のある商品の開発と、それを契機とした地域経済の活性化を目的としたネットワーク。 <http://www.kompetenznetze.de/initiative>